

Governor's Monthly Letter

To Club Presidents and Secretaries

Rotary International District 2550



2006～2007年度
国際ロータリーのテーマ

率先しよう

RI会長 ウィリアム B. ボイド
ガバナー 落合 雅雄



CONTENTS

- ▶ p.1 落合ガバナーメッセージ
- ▶ p.2 財団月間に因んで
- ▶ p.3 米山記念奨学会研修セミナー報告
- ▶ p.4 クラブ国際奉仕委員長研修セミナー報告
- ▶ p.5 公式訪問だより
- ▶ p.8 新入会員
- ▶ p.9 2006夏期交換を終わって
- ▶ p.11 ロータリー財団、米山記念奨学会表彰者
- ▶ p.12 地区資金、基金及び協力金収支計算書
- ▶ p.14 米山北関東学友会栃木支部総会・研修旅行に参加して
- ▶ p.15 ガバナーエレクト事務所開設のご案内
- ▶ p.16 地区主要行事予定／文庫通信
- ▶ p.17 2006年9月第2550地区会員増強、出席報告

今月のロータリーレート
1\$ = 118円

2006.11
No.5

国際ロータリー第2550地区ガバナー事務所
〒328-0042 栃木県栃木市沼和田町12-15 平和ハイツ2F
TEL 0282-20-2020 FAX 0282-20-2025
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp





ロータリー財団と「水保全」

国際ロータリー第2550地区
2006~2007年度ガバナー

落合 雅雄
(栃木西RC)

現在世界の人口は65億です。10年後インドで2億5,000万人増加、2025年に地球人は26億人増加すると予測されています。しかしその増加の大部分は途上国です。この人口を支える食糧は、増産されても人口増加に追いつかず、飢餓状態がさらにすゝみ、食糧危機による紛争が起こる公算が大きいといわれています。(森本敏) その食糧生産には水が不可欠です。人口増加に伴い水の消費量も増え、20年後には倍増するだろうと推測されています。周知のとおり数年前からR I の命題の一つに「水保全」が提唱されてきました。

私達人類は、この生命の泉を汚染するだけでなく枯渇させようとしています。いま私達の生活習慣を改めない限り、これから四半世紀のうちに全人類の1／2あるいは2／3は、深刻な水不足に見舞われると予想されています。

この時代を支配する「ワシントン・コンセンサス」自由市場経済至上主義の経済モデルでは、その要点はコモンズ(共有財産)の商品化であります。つまりすべてが販売の対象となり、社会事業や天然資源など人類の共有財産も含まれ、水も例外ではなく私有化され商品化されることになります。2000年3月「第2回世界水フォーラム」で、水は将に商品として位置づけられました。これによって水は営利目的で販売されることになりました。しかし淡水は本来地球と全生物種のものであり、個人の利益のために水を使う権利は誰にもない筈です。

利用可能な淡水は、地球の総水量の0.5%以下といわれています。淡水は通常雨水の循環によって得られます。この他雨水に頼らない帯水層と呼ばれる地下貯水池に淡水があります。穀物生産には全水量の65~70%が使われています。また淡水の20~25%は産業界で消費され、車一台を作るために要する水は40万ℓ、米国のコンピューター産業だけでも1兆5,000億ℓの水が使われており、2025年までにその消費量は倍増すると予測されています。

一方世界で最も豊かな上位1／5の国が水の全消費量の86%を消費しています。その中で北米人は1人当たり毎年1,280ℓと最も多量で、次いで欧州人の694ℓ、アジア人535ℓ、南米人311ℓ。アフリカ人は最少の186ℓの水が与えられています。地球上で最も乾燥した大陸のオーストラリア人は、欧州人と同量の水を使っています。そしてどの地域でも貧しい人々ほど高価な水を買わされています。

今やこの貴重な水も乱開発やダム建設、分水過剰引水などにより量が減少し、さらに地球温暖化がもたらす天候異変に始まり、極地の氷の溶解、広大な土地の水没や大陸の砂漠化など遂にはグローバルな崩壊がおきると推考されています。

実際10億人以上にクリーンな水が供給されず、30億人以上が衛生設備を利用できない状況であり、さらに第三世界の廃水の90%は、未処理のまゝ河川に流出し、ガンジス川はインドの排水溝となっています。アフリカのビクトリア湖や河川の多くが汚染により魚がない状態で、中国でも主要河川の80%は魚が生息できない状況にあることから、途上国で発生する病気の80%は水の媒介が原因と考えられ、残り20%の病気の原因は栄養失調によるといわれています。

水の供給と汚染を防ぐことが21世紀における課題として、R I 強調事項の第一に「水保全」が位置づけられています。この水保全に関するプログラムは、世界中のロータリーによって様々なプロジェクトが展開しているところであり、ロータリー財団の資金支援を活用し得る活動計画が立案されていることでしょう。当地区では、足尾の植樹活動の輪が年々拡がりつつ継続されていますが、各クラブにおいても地域あるいは途上国でプロジェクトが計画実施されることと思います。その基盤たるロータリー財団資金として会員一人々々の130ドルの拠出も完遂されますようお願い申し上げます。

参考文献 森本敏「日本の将来と日本人の生き方」、カレント10月号

モード・バーロウ

トニー・クラーク 鈴木主悦訳

「水戦争の世紀」集英社 新書



財団月間に因んで

地区ロータリー財団委員長

佐野正行

(佐野RC)

ロータリー財団は皆様ご存知のように、1917年、6人目のR I会長アーチ・クランフがアトランタの国際大会で「ロータリーが基金をつくり、全世界的な規模で慈善、教育、その他、社会奉仕の分野によりよきことをするための基金をつくりう」と提案されました、そして基金への寄付の第一号は26ドル50セントそれはカンサス・シティーRCからで、クランフ会長への記念品の購入資金でした。この基金は1928年ミネアポリス国際大会でロータリー財団と改称され、国際ロータリーの中で、別個の存在として活動を始めたのです。ロータリー財団の正式名称は「国際ロータリーのロータリー財団」とし、国際ロータリーの理事会が選出した15名の財団管理委員によって運営され、大きな財團に発展してくるのです。06-07年度の管理委員会委員長はルイス・ビセンテ・ジアイ元RI会長が就任し、エレクトにはビチャイ・ラタクリル元R I会長が就任されました、ロータリー財団の使命も「ロータリー財団の使命は、地域レベル、全国レベル、国際レベルの人道的、教育的、文化交流プログラムを通じて、ロータリーの綱領とロータリーの使命を遂行し、かつ世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援すること」と改定決定され、皆様ご存知のように地区補助金など、その視野は世界から全国そして地域へと大きな変革をしているのです。

こうして活動するロータリー財団は、今日明日の時点ではなく、何年、何世代の幾世紀にもわたる運動であり、今まで財団の発展は限りなく進み、世界平和に大きな貢献をしてくるのですが、それには皆様方の基金に対する寄付が無ければ達成できないのです。26ドル50セントから始まった寄付も、2006年5月に1000ドルを財団に寄付し、ポール・ハリス・フェローの認証を受けた人数は世界で1,000,000人を超えたのです。こうして皆様より集まった基金は1. 年次寄付 2. 恒久基金寄付 3. 使途指定寄付の三つに大別されます、そのうちの年次寄付が財団プログラムの基礎であり、寄付してから3年間運用され、50%が財団のプログラムに、そして50%が地区が使い道を決定できるプログラムに使うことができるのです。

財団のプログラムは大きく分けて

1. 人道的プログラム はマッチング・グラント、地区補助金、個人向け補助金、3・H補助金、の4つがあります
2. 教育的プログラム は国際親善奨学生、世界平和フェローシップ、研究グループ交換、大学教員のためのロータリー補助金、ロータリー平和及び紛争解決研究プログラムの5つです
3. ポリオ・プラス・プログラム

の3つがあります。

是非皆様のクラブでもこのようなプログラムを活用して頂きたいと思います。今年の地区的活動は国際親善奨学生として昨年決定した5人中3人がそれぞれの留学国に出発しました、残念ながら合格しながらキャンセルされた方があり推薦されるクラブでの面接をしっかりお願いしたいと思います。又この春に決定した3名の方々は今夢中になって来年の留学に向けて勉学されている最中です。GSE研究グループ交換の今年はアメリカ6580地区（インディアナ）との交換で来春の4月23日から5月21日の4週間で、団員を募集しています。

地区補助金は15,000ドルを予定し16クラブのプロジェクトを支援することに決定いたしました。財団学友委員会はロータリーファミリーの一員である財団学友としての国際親善奨学生が145名GSEが70名と居られますのでクラブの卓話に来ていただいてはいかがでしょうか。ポリオプラス&識字率向上支援も大いに必要な活動です、ポリオは未だ終息せず2006年7月18日現在ナイジェリアの539症例を筆頭に13カ国741の発症が伝えられています。又識字率の向上支援も世界ではなく皆様の周りにも多くの方々が居られることを見逃さないで下さい。

こうした活動を行うためには、多くの資金を必要とします。落合ガバナーは皆様に一人当たり130ドルの地区目標を定められました。皆様のご協力では是非達成していただきたく思います。又恒久基金についても50名以下のクラブは1名、100名以内は2名、100名以上のクラブは3名のベネファクターをお願いしたく思います。そして100%財団の友クラブや100%ポールハリスクラブにもチャレンジされることは如何でしょうか。そのほかロータリー財団には15万ドル以上の寄付による冠名奨学生基金、25,000ドル以上の冠名基金、100万ドルで新しい財団プログラムまたは活動の創設が出来るそうです。又、遺贈友の会という10,000ドル以上を遺産の受取人としてロータリー財団を指名するものもあり、現在4,828名2億200万ドルの遺贈があります。そのほか1万ドル以上を寄付し年金を受け取れる慈善年金、そして2,006年7月1日より公認された新しいプログラムで毎年1,000ドルを寄付することを約束する、ポール・ハリス・ソサエティーがあります。

又、国際ロータリー・クレジットカードのお願いです。このクレジットカードはゴールドカードだと年会費の30%が、又スタンダードカードは年会費無料で、何れも、利用料の0.3%がロータリー財団に寄付されますので是非お考え下さい。

ロータリー財団は皆様方のご協力無くしてはその目的を達成することは出来ないです。皆様のご協力ご支援をお願い申し上げます。



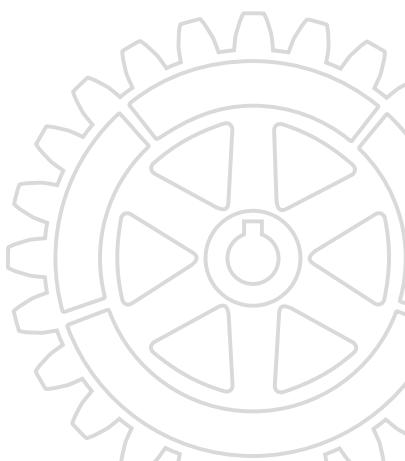
米山記念奨学会研修会

米山記念奨学会委員長

池 嶋 英 哲

(西那須野RC)

当は財団との合同で開式のセレモニーのあと、別会場で米山委員長の会議を行いました。代理の方で結構ですの
で必ず参加して頂きたいとお願いをしておりましたが、米山の方への出席は6割程度しかなく、やはり財団との合同
ではしづ寄せが米山へ来てしまうのかと感じました。ロータリー米山記念奨学会は、将来母国と日本との懸け橋とな
って国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。この目的を遂行するための奨学生を選ぶ
基本的な考え方や、クラブ委員長としての寄付増進に対する、各地区・各クラブの取り組み等の紹介を行いました。
また「普通寄付」と「特別寄付」についても説明を行い、特に「普通寄付」は「財団法人ロータリー米山記念奨学会
寄付行為」の細則第2条普通寄付に定められており、毎年1月1日及7月1日に、各半年度分を遅滞なく受領するもの、とされています。R 1の人頭分担金と同じ性質のもので、クラブの会費の中から予算を組み支払うもので、
この件に関しては委員長より幹事の責任と説明しておきました。昨年度全国で未納が5地区あったことは、とりあえず
当地区は寄付額も全国五位で問題ないとはいえ、それぞれの立場の人に取って「他山の石」とすべきことと思いました。
カウンセラーを経験した会員の寄付が、そうでない人より多いことは統計上確認されております。今年度は、
6つのクラブから奨学生に卓話の依頼が来ておりますが、世話クラブ以外は月間に奨学生に卓話を依頼するとか、そ
の折ワンデーホスピタリティーを行うなどして、交流を通じ、相互理解を深めて頂きたい旨お話を致しました。午後
は地区委員が加わり、6つのグループに分れグループディスカッションを行い、疑問点や、今まで分からなかったこ
となどについて話し合い、理解をいただけたかな、と思っております。





クラブ国際奉仕委員長研究会

地区国際奉仕委員長

柴 田 恒 男

(宇都宮西RC)

去る9月10日標記研究会を宇都宮にて開催しました。

当日は落合ガバナーをはじめ、高橋、喜内、吉光寺、松本ガバナー補佐のご臨席を賜り、地区の関谷奉仕プロジェクト委員長、織田世界社会奉仕（WCS）委員長、瀬野青少年交換委員長、田島国際親善委員長をはじめ地区委員の皆様にご出席をいただきました。

また、クラブからは今年度より国際奉仕委員長及び奉仕プロジェクト委員長の出席をお願いしたところ、クラブによっては両委員長の出席をいただいたところもあり、総勢65名の参加をいただきました。

落合ガバナーは挨拶の中で、危機管理委員会の設置について、今年度地区全体の課題を指示されました。以下当日の各委員会の要点は。

世界社会奉仕（WCS）委員会

WCS活動については相手国にRCがあることを再度確認、現在進めているアフガニスタンについては、最近RCが設立されたということなので、今年度継続して事業を推進したい。

青少年交換委員会

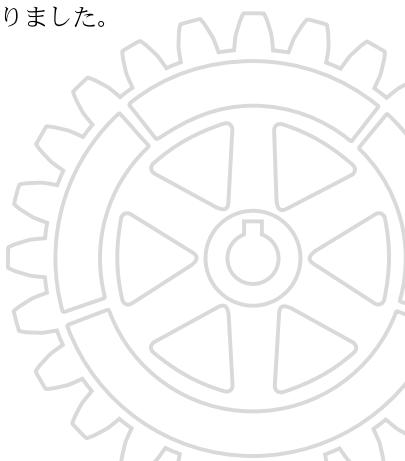
今年度夏期交換は受入、派遣とも滞りなく終了した。一年交換派遣学生9名は8月中に無事相手国に到着、留学生生活を開始、受入学生8名も全員来日。受入クラブとホストファミリーの皆様には1年間よろしくお願ひします。

国際親善委員会

親善活動、姉妹クラブの有無などのアンケート調査結果を発表した。

その後、昨年に引き続きWCS活動として、簡易義足「セルフウォーカー」の製造元のヤマトエンジニアリングさんをお招きして実情の説明をいただきました。

また、夏期交換及び一年交換の帰国報告、来日学生の紹介、挨拶を行い充実した委員会となりました。





西那須野 R C 8月29日(火)
塩原 R C 会場 割烹 いとう

第1グループ・ガバナー補佐 相馬征志

8月29日、西那須野・塩原両クラブの合同例会に落合ガバナーが公式訪問され、私もこれに加わりました。以下はその随行記です。

例会では、西那須野クラブ大原会長は、落合ガバナーの来訪に謝意を表されるとともに次のようなご挨拶がありました。

『本年度RI会長のテーマは「率先しよう」と掲げ、

落合ガバナーは、ロータリアン全員挙げ先頭切って道を進もうと提唱し、その行動において、いつも思いやりの心を忘れないでほしいと強調なされています。このテーマを確かな形にするため、我がロータリークラブも本年度CLPを率先して実行することに決めました。現在、会員皆さんのご協力のもとで、軌道に乗り目標に向かって努力しています。』

また、塩原クラブの高田会長は、例会に先立って開かれたガバナーと会長・幹事等との懇談会の席でガバナーから受けたご指導に感謝の言葉を述べられたのに加え、地域性からくる会員増強の難しさを吐露されるとともに、次のように付け加えられました。

「小さいクラブには、良いところもあります。少人数ゆえに、会員同士のコミュニケーションが良く取れます。しかし、奉仕活動には自ずから制約はありますが、メンバーは力の限り一生懸命がんばる所存です。」

栗野西方 R C 9月5日(火)

鹿沼中央 R C 会場 八州カントリー

第7グループ・ガバナー補佐 石川昭男

9月5日 快晴の火曜日、栗野西方R C会長小島正男様、幹事斎藤正様、鹿沼中央R C会長八木修一様、幹事吉澤定男様両クラブの出迎を受け栗野西方R Cの例会場八州カントリークラブで公式訪問が始まりました。

始めに栗野西方R Cの小島会長から報告を受け、続いて鹿沼中央R Cの八木会長から報告を受けました。両クラブともクラブが企画する奉仕活動に、長年地元の高校生を参加させ奉仕の心や意義を自然に身に付けさせていました。また、国際奉仕を合同で行いたい話は嬉しい出来事でした。

グリーンが一望できる例会場で、小島会長の点鐘で例会が和やかに始まり、八木会長の点鐘で例会が終了しました。その後の合同炉辺会合では八木会長から『今年度は、公式訪問の設営に対して小島会長始め栗野西方R C会員の皆様



栗野西方・鹿沼中央R C

に大変お世話になり、今後も親交を深めるためにも、次年度は、是非鹿沼中央R Cが設営をして合同公式訪問をおこないたい。』との提案があり、合同で公式訪問を行った意義も確認できました。栗野西方R Cと鹿沼中央R Cが共に発展し更に親交を深めることをご期待申しあげます。



宇都宮西 R C 9月7日(木)

会場 東武ホテルグランデ

第3グループA・ガバナー補佐 伊東永峯

活気あふれる9月の宇都宮西ロータリークラブ第一例会に、会員一同温かい拍手で落合ガバナーをお迎えし、第3グループA内では最初の公式訪問が始まりました。

会長挨拶、幹事報告、委員会報告に続いてのガバナーコメントでは、短い時間の中でCLPをなぜ導入するに至ったか、会員の減少による深刻な問題に端を発し、クラブを魅力ある元気な集まりにするため、女性会員の入会を視野に入れた会員増強を、退会防止などの委員会活動活性化の重要性を、具体的な事例を取り入れながら、分かりやすくお話をいただきました。

それは、国際ロータリーという大きな流れの中で、CLPを取り入れ、時代に合わせたクラブ運営を会員が主体となり、活性化の為に実施していくべきであるという内容でした。また、時代のニーズに合わせた合理化の中で、全員参加型の委員会再編をどのように実行していくか、特に、その中でも、内容や質を重んじることで、ロータリアンとして大切にしていかなければならない物を決して見失わず、会員相互の親睦をいかに図っていくか、などのお話を、「ロータリーは人生の道場である」という言葉を引用しながらまとめられました。

引き続き行われた炉辺会合では、会員増強のポイント・クラブ奉仕部門での具体的な活動事例・地区リーダーシッププランについて・米山奨学金とロータリー財團についての質問があり、落合ガバナーも積極的に会員と意見交換を行い、内容の濃い炉辺会合となりました。

物事の本質を見極め、形式にとらわれないクラブ運営、例会運営をご指導いただき、終始温かな雰囲気の中で、公式訪問全日程を無事終了し、会員一同の拍手の中、例会場を後にされました。

鳥山 R C 9月12日(火)

矢板 R C 会場 矢板イースタンホテル 第2グループ・ガバナー補佐 馬頭・小川 R C



宇都宮西 R C

第2グループ最初の公式訪問であります。落合雅雄ガバナー、例会場に早めに到着。本日は、鳥山、矢板、馬頭・小川の3RCの合同公式訪問であります。

会長・幹事懇談会は、午前9時50分より矢板RC、午後10時50分より馬頭・小川RC、午前11時50分より鳥山RCの順で、予定通り開催されました。出席者は、その他に会長エレクト、そのクラブの特別事業担当者が参加。懇談会は、報告書等を中心に、ガバナーが各計画の具体的な内容を聞き、それらに対し参考例を上げるなど目的達成と一緒に検討、そして提言。クラブの中には、クラブ会長を2回、幹事を3回、その他地区役員を歴任されている方がおり、昔話が出るなど、なごやかなうちに懇談会が終了。

その後、午後1時より合同例会が開催。最初に矢板RC阿久津潤子会長より、心あたたまるガバナー歓迎のごあいさつ。そして昼食後、落合雅雄ガバナー公式訪問記念卓話として、鳥山RC渡辺大明会長が、ガバナープロフィールを紹介。早速、ガバナーが演壇に立ちごあいさつされましたが、その中で先に紹介されたガバナープロフィールの一部訂正を述べて卓話に入り、地区およびRIの方針や活動等を細かに説明。特にCLPの必要性を説かれました。



炉辺会合は、馬頭・小川RC高野雅文会長の進行により進められ、早速鳥山RCより、CLPと地区の整合性について、馬頭・小川RCより、会員増強と退会防止の対策について、矢板RCより、一部米山事業のあり方等ガバナーと活きある話し合いが行われました。

今回の公式訪問は、3クラブ合同と初めての試みでしたが、その3クラブが密な連携をとり一体となった実に見事な成果を上げた公式訪問と感じました。



氏家RC 9月14日(木)
高根沢RC

第2グループ・ガバナー補佐 高橋 經雄

会場 ホテル 清水荘

第2グループでは、第2回で最後の2クラブ合同公式訪問であります。本日は夜間例会との事で、会長・幹事会が午後3時50分より氏家RC、午後5時より6時が高根沢RCの順で開催されました。出席者は他に会長エレクト、情報委員長、副幹事が出席。懇談会は報告書を基に、ガバナーが各事業計画の詳細を聞き、そしてその事業が達成される様事例等を上げながら、



氏家・高根沢RC

アドバイス。奉仕の基本となるニコニコボックスについて、他クラブでの事例として、創業記念、奥様、お子さん誕生日等を紹介。財団等への寄付については、1ヶ月約1,000円でありますので、1回の飲み代を減らせば…、と冗談を交えながら理解を求めた。また、歴代（1970年代）地区ガバナーの氏名等が違っている事をやさしく指摘するなど、詳細に目を通しているガバナーに、各クラブは、感謝。あるクラブからは、ガバナー公式訪問に対し事前に寄付をしたいと、数名の会員から申し出があり、数日前に送金した旨の報告があるなど、なごやかなうちに懇談会が終了。その後、午後6時30分より合同例会が開催され、会員全員の歓迎の拍手のなか例会場に入場。先ず氏家RC大村一夫会長並びに高根沢RC阿久井敏夫会長より、ガバナー歓迎のごあいさつ、併せて米山奨学生のタバ・スラブ君とお父さん、1年交換学生のキッティカ・ブーンさんを紹介された。次にガバナーあいさつでは、こちらのクラブは高根沢RCをスポンサーしたことが一番大きいことであると思います。と述べ、本年度R I会長テーマ「率先しよう」を説明し、地区およびR Iの方針や活動について具体的に解りやすく説明され、特にCLPの必要性を強く説かれた。

炳辺会合は、やや遅れて7時40分過ぎの開催となったが、高根沢RCより、ロータリー財団補助金について、氏家RCからは、CLP及び夏期交換学生受け入れ等々について、ガバナーと活気ある質疑応答が行われました。

ガバナー退席後、合同で懇親会が開催されクラブ間の親睦を深める中、合同公式訪問は初めてだが、親子の絆が強まったとの話を耳にし、本公式訪問は、実に成果があったと確信をし報告いたします。

大田原RC 9月21日(木)

黒羽RC 会場 イースタンホテル
大田原中央RC

第1グループ・ガバナー補佐 相馬 征志

落合ガバナーの訪問を得て、大田原・黒羽・大田原中央3クラブ合同例会は、9月21日大田原市内で開催されました。クラブ会長・幹事とガバナーとの懇談会は、例会に先立って大田原クラブ、黒羽クラブの順で、大田原中央クラブとの懇談会は例会後に開かれた。懇談会は、ガバナーがR Iや2550地区現状についての説明をし、クラブ・リーダーへの期待・要望を話された後、同席者の質問にていねいに答えられ、和やかに終了いたしました。例会では、橋本大田原クラブ会長・大西黒羽クラブ会長がそれぞれ、「懇談会の席上ガバナーから頂いた指導・助言を生かしてこれからクラブ運営にあたりたい」と、抱負を語られ、高橋大田原中央クラブ会長代理は「森本会長が健康上の理由で今席に出られないが、例会後の懇談会では充分勉強



大田原RC



して帰りたい。と述べた。

3クラブ合同例会プログラム終了後、落合ガバナーの卓話があり、そのあらましは次の通りでした。

「私は、栃木西ロータリークラブの所属です。本日3クラブ合同例会のホスト大田原クラブさんより4年遅れて創立され、今年43年目に入りました。大田原クラブさんは、私のクラブより歴史のあるクラブですから当然ガバナーを輩出されて然るべきと思います。人材・経験ともに豊富なクラブですから是非近々ガバナーをお出し頂くようお願いいたします。

(中略)

今日の懇談会や例会では教えられることも多く、大変いい公式訪問となりました。これから皆様のますますのご発展とご健勝を祈念いたしまして、終わりといたします。」



黒羽RC



大田原中央RC

第2550地区 新入会員



伊澤栄二
(宇都宮南R.C.)

(有)栄梱包商事
代表取締役



和田博夫
(小山R.C.)

北日本ガス(株)
代表取締役社長



半田正樹
(小山R.C.)

株N T T 東日本栃木営業部
お客様サービス部門長

 私は奉仕の精神を第一主義に微力ながらも
地域社会のお役に立てるよう頑張ります。



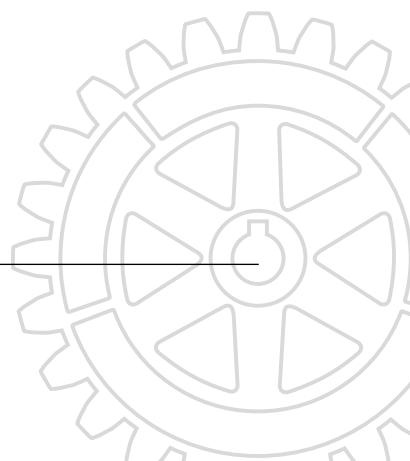
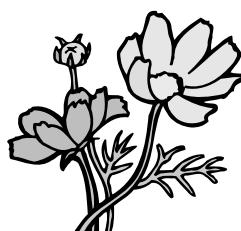
安田竜夫
(足利わたらせR.C.)

株Colors
代表取締役



関谷茂
(足利わたらせR.C.)

セキヤ工業(有)
代表取締役





「この夏を忘れない」

2006夏期交換
地区チームリーダー

諸 伏 勇 人

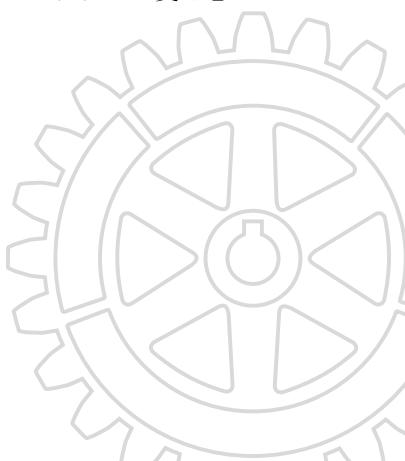
初めて踏んだアメリカの大地、カリフォルニアの青い空、乾燥した大気、そして目に映る景色の全てが、新鮮でした。そこで出会った人々は、その立派な体躯のような大きな包容力で私たちを歓迎してくれました。

私たちは、一週間毎に違う家庭にホームステイし、四家族と約一ヶ月間を過ごしました。ナツツベリーファーム、マジックマウンテン、ディズニーランドやユニバーサルスタジオ等のテーマパークを訪れ、その美しい風景や町並み、施設などを見学しました。滞在中最も印象に残ったのは、ミッドナイトミッションでのボランティアでした。そこで私はホームレスやドラッグ中毒者・精神障害者などに接し、最初は怖かったのですが、ボランティアを通じて助けることにより、お互いの壁はなくなり、今までに経験したことのない感動を覚えました。そしてそれが国の運営ではなく善意の寄付で成り立っているということを知り驚きました。日本が見習うべき点だと思います。

私たちは本当に多くのことをこの夏期交換で学ぶことができました。それは単に英語能力の向上やアメリカの歴史や文化を知ることだけではありません。私たちは、そこで出会った人々とのふれあいを通して、言葉や環境の違いを乗り越え、相互理解できる喜びを知りました。『私たちは友達であり、世界中のすべての人々と理解し合うことができる。』このことは、学校や駅前留学の授業では学ぶことができない異文化コミュニケーションの大切さを、私たちに教えてくれました。もう一つ、学べた大切なことは、『愛』です。[家族への愛] アメリカの家庭、家族はとても繋がりが強く信頼し合っているように感じました。また、どのホストファミリーも私たちを暖かく迎えてくれて、文化や生きてきた背景は全く違っても、理解し合えるということを教えてくれました。[友達への愛] アメリカの学生は皆フレンドリーで明るく積極的で優しく気遣ってくれました。彼らとの付き合いをこれだけで終わらせるのではなく、これからも長く続けていきたいと心から思えます。そして [国への愛] ロータリークラブの行事に参加してアメリカのロータリークラブの愛国心の強さを感じました。この滞在で改めて『愛』の大切さ美しさを実感しました。

私たちの平均寿命は、八十数年と言われます。そして私たちのアメリカで過ごした一ヶ月を生涯に換算すると、それはたった一千分の一ヶ月余りです。そう考えると本当に短い時間でしたが、多くの体験や思い出が凝縮されています。これからは、日本文化、英語、取り分け英語によるコミュニケーションを全身全霊で学んで、この夏に出会えたすべての人と、いつか日本語でなく英語で話がしたいです。

最後になりましたが、日本とアメリカのロータリークラブの皆様に心から感謝しています。次世代を担う若者のためにこれからもずっとこのプログラムが続くことを願います。青少年に無限の可能性と夢、人生における新たな選択肢を増やしてくれることを確信しています。この夏は私の今までの人生で最も素晴らしい日々でした。この夏を忘ることはないでしょう。





『アメリカを見る目を変えさせた日本滞在』

2006夏期交換
アメリカチームリーダー

ロビー ハップ

この夏の5週間に亘る日本滞在における経験は、私にとって生涯忘れないことが出来ないものとなるでしょう。私と他の6名の学生は、6月26日（日）にロサンゼルス国際空港を発ちました。その時は我々全員、このプログラムがこんなに感銘深い印象を与えるであろう事など予想することもできませんでした。

先ず日本に来て、自動販売機の多さと売られている飲み物の種類の多いことに圧倒されました。驚くべき事にはタバコや大きな缶ビールがそこで買えるのです。これが最初に気づいた日本の異文化でした。

日本人は良く躊躇されています。これは日常生活を見れば明らかです。例えば、アメリカでは年齢の証明が無いとビールやタバコのように未成年者に販売禁止している物を自動販売機で売ることは禁じられています。これはおかしいと我々は思っていましたが、年少者がビールを買っている姿を一度も見かけませんでした。もう一つの例が警察官の数が少ないと言うことです。ロサンゼルスでは警察官の数が少ないと増員要求をしています。日本人は、多数の警察官の存在をあまり必要としていないようです。この国は安全で犯罪が少ないので。

引率のヴィキーさんが我々を栃木に残して帰った時、家から本当に遠い所に居るという思いになりました。我々はその後、最初のホストファミリーを紹介されました。ブラッドリーと私は、正直言って、白人の女性とその息子さんに引き合わされて大変驚きました。彼女はシカゴに住んでいる時に、今の日本人の主人に出会い、子供達を栃木で育てよう決めたということが分かりました。家族全員が日本語と英語に堪能だったので意志の疎通は大変楽でした。

大田原、西那須野にいるときには、ハイキングに行き、温泉を訪ね、幼稚園を訪問し、座禅を試み、アジア学院を訪問し、温泉浴場の旅行もしました。

温泉浴場の経験は何か特殊な日本の感じで、最初は大変落ち着かないものでした。日本の後援者達の安らぎ気持ちを感じ取り、やっと慣れることが出来ました。最初の1週間の間に初めて東京へ行きました。その日は大変早く起きなければなりませんでした。そして、バスで近くの駅から最初の停車駅、秋葉原・電気街へ向かいました。その後、都内観光旅行に参加し、東京タワー、浅草、皇居へ行きました。そして、歩きでバスターミナルへ戻り、バスで帰宅しました。全員で日本の高校も訪問し、そこで伝統的な弓道・剣道・野球等の色々な放課後の活動を見ました。

私の第2週は、日本語と日本文化に純粋に浸ることでした。私の2番目の家は仏教のお寺で、最初はビックリしました。我々はすでに多くのお寺を訪ねていますが、この寺での滞在は大変興味深い物でした。息子さんは僧侶で立派な英語を話し、私の通訳をしてくれました。最初の晩には、その地域のロータリアンの方とバーベキューをご馳走になり、大変歓迎されました。馬頭、小川（那珂川と呼ばれる）滞在の週には、キリンビールの工場見学をし、茂木のツインリングでゴーカートに乗ることも出来ました。ホストファミリーの息子さんとその友人に連れられ栃木の外れに位置する日光へ行きました。そこで、沢山の滝や湖が静寂の中にあるのを見ることが出来ました。ホストファミリーにカリフォルニアの本をプレゼントしページ毎に説明をすると大変喜んでくれました。第2週の2番目のホストファミリーも私を喜んで受け入れてくれました。小川夫人は私が今までに食べたことがないような美味しい食事を作ってくれました。キッチンテーブルが有ったのも、（アメリカでは普通のことでしたが）感謝しました。



私の4番目のホストファミリーは、陶器の町、益子の隣の茂木でした。その主人はユニークな木工漆塗りの世界的に有名な芸術家でした。私が滞在してから、奥さんの英語は一週間後には大変上達されていました。この家族は最近オハイオから移ってきたアメリカ人家族と知り合いでした。その家族がDVDを持ってきてくれたのでブラッドリーと私は自由な日にはそれを見てリラックス出来ました。益子地区に滞在中は陶器に色を塗ったり、日産の工場を訪ねたり、100円ショップに買い物に行ったり、レクリエーションセンターで泳いだりしました。TVのチャンネルを回していると、(アメリカの番組)「フレンド」を見つけました。もちろん言葉は日本語でした。この週には真岡の夏祭りにも行きました。その夜は、夏祭りの会場から道を隔てて、すぐ近くのロータリーの方の家の家での素晴らしいバーベキューで始まりました。祭りでは100人程の男性が肩に御輿を担ぎ川の中へ分け入って行きました。この夜は本当に忘れられない、第3週を終わるにふさわしいものでした。

私の最後の1週間は大変忘れ難いものの一つでした。私がお世話になったご主人は大変英語の語彙が豊富で流暢に喋れました。二人のロータリアンがキャロラインと私を、アメリカで見ることが出来なかった映画、「パイレーツ・オブ・カリビアン」を見に連れて行ってくれました。エースのホストは私のホストと同じロータリークラブでしたので月曜日の午後、東京へ行って、素晴らしい時を過ごすことが出来ました。私たちは“英語漬け”幼稚学校を訪ねました。そこでは3歳からの子供に英語の話し方を教えていました。私たちはその子供達の知識の高さに驚かされました。もう一つのハイライトは、ロータリー交換留学にこれから行く3名と、すでに帰ってきた日本の学生と東京デズニーランドへ行ったことです。私たち全員が子供心に返り、はしゃいでしまいました。

アメリカに帰り家族と会うことを心待ちしているのに、日本を離れるのがとても辛かったです。私は日本の文化がいかに特徴あるかということを沢山学びました。アメリカ人として私は誰もがアメリカのようになりたいと欲していると信じていたのですが、日本人は日本人としての生き方に満足して居るのです。西洋の思想、やり方を受入ながら、彼らの伝統的な習慣を生かしつつ素晴らしい社会を築き上げているのです。この旅行は外国に対する私の見方を変えさせると共に、私のアメリカを見る目も変えさせました。私たちアメリカ人、政府も社会も日本のような外国に学ぶ事が沢山あります。

ロータリー財団

(2006.7~2006.9)

マルチ・ポール・ハリス・フェロー

葛生 R C 坪内 馨 (3)、 江田惣平 (2)、 長島 徹 (1)、

栃木西 R C 落合雅雄 (3)、 石塚 明 (2)、 石崎功一 (2)、

宇都宮西 R C 村上 肇 (5)、 森 玄房 (5)

米山記念奨学会

(2006.7~2006.9)

米山記念奨学会

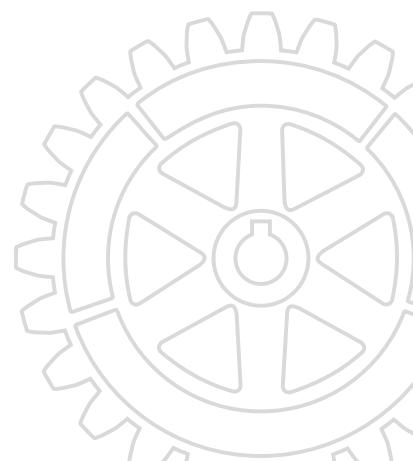
米山功労者 ※2以上はマルチプル、10以上はメジャードナー

栃木西 R C 石崎功一 (8)、 石塚 明 (13)、

鳥山 R C 大西直次 (1)、 棚橋誠一郎 (1)、 横山道有 (1)、

壬生 R C 加藤孝恕 (2)、 梁島伸幸 (2)、

氏家 R C 松山猛郎 (7)、 高橋經雄 (3)



2005～2006年度 国際ロータリー第2550地区 地区資金・基金及び協力金収支計算書

(2005.7.1～2006.6.30)

1. 地区資金の部

(単位：円)

前 年 度 繰 越 金	7,383,253
当 期 収 入 総 額	18,508,020
当 期 支 出 総 額	12,351,952
差 引 次 年 度 繰 越 金	13,539,321

収入の部

基準会員数 2,000名

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
前 年 度 繰 越 金	500,000	7,383,253	6,883,253	
地 区 資 金 受 入	15,000,000	15,103,125	103,125	前期 ¥3,750×1,979名=7,421,250 新入会員 ¥1,875× 59名= 110,625 後 期 ¥3,750×2,011名=7,541,250 新入会員 ¥1,875× 16名= 30,000
雑 収 入	400,000	3,404,895	3,004,895	預金利息 824 シカゴ国際大会還付金 106,960 地区大会剩余金 3,297,111
期 間 総 収 入	15,900,000	25,891,273	9,991,273	

支出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
委員会活動費				
ク ラ ブ 奉 仕	300,000	111,226	△ 188,774	
職 業 奉 仕	100,000	—	△ 100,000	
社 会 奉 仕	80,000	80,000	0	
新 世 代	150,000	42,397	△ 107,603	
国 際 奉 仕	70,000	10,500	△ 59,500	
ロ ー タ リ ー 財 団 情 報	70,000	88,560	18,560	
ボ リ オ プ ラ ス	10,000	—	△ 10,000	
米 山 記 念 獎 学 会	70,000	50,000	△ 20,000	
拡 大 增 強	10,000	—	△ 10,000	
ロ ー タ リ ー の 友	30,000	30,000	0	
オ ン ツ ウ 国 際 大 会	10,000	—	△ 10,000	
諮 問 委 員 会	700,000	748,635	48,635	
地 区 会 合	600,000	179,533	△ 420,467	
小 計	(2,200,000)	(1,340,851)	(△ 859,149)	
補 助 金				
地 区 大 会	1,000,000	1,000,000	0	
地 区 協 議 会	1,400,000	1,400,000	0	
地区チーム研修セミナー	1,000,000	1,000,000	0	
会長エレクト研修セミナー	1,000,000	1,000,000	0	
I M	300,000	250,000	△ 50,000	
会 長 幹 事 会	100,000	10,186	△ 89,814	
次 期 ガ バ ナ ー 旅 費	1,200,000	1,200,000	0	
ガ バ ナ ー 補 佐 活 動 費	1,000,000	1,000,000	0	
親 善 活 動 費	300,000	300,000	0	
拡 大 增 強 活 動 費	500,000	—	△ 500,000	
広 報 活 動 費	500,000	—	△ 500,000	
小 計	(8,300,000)	(7,160,186)	(△ 1,139,814)	
納付金その他				
ロ ー タ リ ー 文 庫 運 営 費	600,000	598,350	△ 1,650	
地 区 年 鑑 積 立 金	50,000	—	△ 50,000	
全 国 ガ バ ナ ー 会 費	400,000	398,900	△ 1,100	
ロ ー タ リ ー 研 究 会 分 担 金	600,000	777,000	177,000	
旅 費	2,000,000	1,234,000	△ 766,000	
慶 弔 費	100,000	53,500	△ 46,500	
登 錄 料	250,000	264,000	14,000	
監 察 費	80,000	50,000	△ 30,000	
年 次 報 告 作 成 費	300,000	300,000	0	
雜 費	300,000	175,165	△ 124,835	
予 備 費	220,000	—	△ 220,000	
小 計	(4,900,000)	(3,850,915)	(△ 1,049,085)	
次 期 繼 越 金	500,000	—	△ 500,000	
期 間 総 支 出	15,900,000	12,351,952	△ 3,548,048	


地区資金・基金及び協力金収支計算書

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2550

2. 基金・協力金の部

(単位：円)

前年度繰越金	4,373,747
当期収入総額	40,275,000
当期支出総額	41,053,783
差引次年度繰越金	3,594,964

収支決算書

(単位：円)

科 目	予 算 額	収 入 決 算 額	支 出 決 算 額	支 出 決 算 額	備 考
ガバナー一月信購読料	4,000,000	4,027,500	3,659,027	△ 368,473	
地区大会分担金	10,000,000	10,068,750	10,000,000	△ 68,750	
ガバナー事務所協力金	11,300,000	11,377,650	13,507,405	2,129,755	
青少年交換基金	4,400,000	4,430,250	4,834,988	404,738	
新世代基金	5,100,000	5,135,100	4,213,322	△ 921,778	
国際親善基金WCS	400,000	402,750	72,302	△ 330,448	
基金GSE基金	4,100,000	4,128,150	4,416,719	288,569	
国際親善奨学生	600,000	604,125	250,020	△ 354,105	
R財団学友基金	100,000	100,725	100,000	△ 725	
合 計	40,000,000	40,275,000	41,053,783	78,783	

3. 地区資金・基金及び協力金収支合計表

(単位：円)

科 目	前年度繰越金	当期収入総額	当期支出総額	次年度繰越金
地区資金	7,383,253	18,508,020	12,351,952	13,539,321
基金・協力金	4,373,747	40,275,000	41,053,783	3,594,964
小 計	11,757,000	58,783,020	53,405,735	17,134,285

※次年度繰越金内訳 (次年度ガバナー事務所への送金)

2005.9.15	3,000,000
2006.1.11	3,000,000
2006.9. 1	11,134,285

合計 17,134,285

以上の通り2005-06年度会計報告を致します。

平成18年8月31日

国際ロータリー第2550地区
 ガバナー 大竹 義夫
 地区幹事 中村 福蔵
 地区会計長 新里 元二

監査報告書

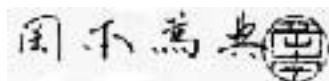
私は、平成18年8月31日 足利市旭町553 直前ガバナー事務所内において、国際ロータリー第2550地区
 2005-2006年度 地区資金収支計算書・基金及び協力金収支計算書について、同年度ガバナー 大竹義夫、地区幹事
 中村福蔵、地区会計長新里元二立会のもと監査を実施いたしました。

監査の結果、地区資金収支計算書・基金及び協力金収支計算書は何れも適正且つ正確であることを認めましたので、
 ここに報告いたします。

平成18年8月31日

2005-2006年度 国際ロータリー第2550地区

監査委員



2005-06年度 地区R財団活動資金報告

DDFの金額\$288,852.30

地区補助金	\$20,000.00
国際親善奨学生	\$134,206.65
GSE	\$6,000.00
マッチンググラント(D3750)	\$3,000.00
ポリオプラス	\$10,000.00
世界平和奨学金	\$25,000.00
	\$198,206.65
次年度へ繰越	\$90,645.65

地区補助金内訳

宇都宮東、宇都宮西、宇都宮北、益子、小山北、栃木、鹿沼東、壬生、栃木南、佐野
 黒磯
 西那須野、大田原中央、烏山、高根沢、宇都宮陽南、小山、真岡西、小山中央、鹿沼中央、葛生
 以上21クラブ \$20,000 (¥2,240,000)



平成18年度

米山北関東学友会栃木支部総会・研修旅行に参加して

米山記念奨学会地区委員

恩 田 光 憲

(宇都宮西RC)

10月8日から9日にかけ、平成18年度米山北関東学友会栃木支部総会と研修旅行が開催されました。昨年同様、今年も財政的なことや会員の負担を考え、また栃木の文化をより知って貰おうと、県内での開催となりました。池嶋地区委員長の地元である大田原市の黒羽方面でのスケジュールです。参加者は、学友会会員（元・現米山奨学生）、会員家族、友人、米山地区委員の総勢34名でした。

バスでの移動です。たくさんの被害をもたらした低気圧の通過後で天候が懸念されましたが、晴天で、多少の強風も気にならない快適な二日間でした。

一日目は、千本松牧場でジンギスカンの昼食をし、その後は黒羽に向かい、染色工房での藍染めの体験です。始めは、どのようなものが出来るか不安な気持ちでハンカチの絞り染めをしましたが、出来ばえは一つひとつが独創的で、同じものがないために、俄か芸術家気分になりました。留学生たちは、さすが、科学者が多いためか、染色工程についてや、材料についてなど、染色工房のご主人が答えに困るような質問がたくさんありました。二班に分かれて、半分は、那珂川遊水園を見学し、交代としました。

宿泊は、ホテル「花月」で、総会と親睦会が開催されました。そこで、池嶋委員長から、来年の地区大会で、それぞれのお国の料理を披露してはとの提案がありました。素晴らしい企画で、是非実現していただければと思います。

二日目は同じ旧黒羽町にある「大雄寺」(だいおうじ)において、座禅の体験学習をしました。県文化財指定の静かな森林の中にある総力や葺き屋根の歴史のある曹洞宗の寺院で、ご住職の説明後禅堂に移動し、約25分の座禅を体験しました。殆どの人が始めての体験で、また他宗教の人もいたかと思いますが、敬虔に手をあわせ、心を洗うことが出来た時間を過ごしました。

馬頭の道の駅で昼食後、広重美術館を見学。米光学友会委員長のご努力による盛りだくさんの企画に満足し、全員

無事に宇都宮駅に到着し解散となりました。

米山学友会の栃木県支部は、このように毎年総会、親睦会を開き、たくさんの元奨学生や現奨学生、家族などが参加し、親睦を深め活発に活動しています。今後も、米山奨学会へのご協力にあわせ、賛助会員の募集もしておりますので学友会へのご協力も宜しくお願い致します。





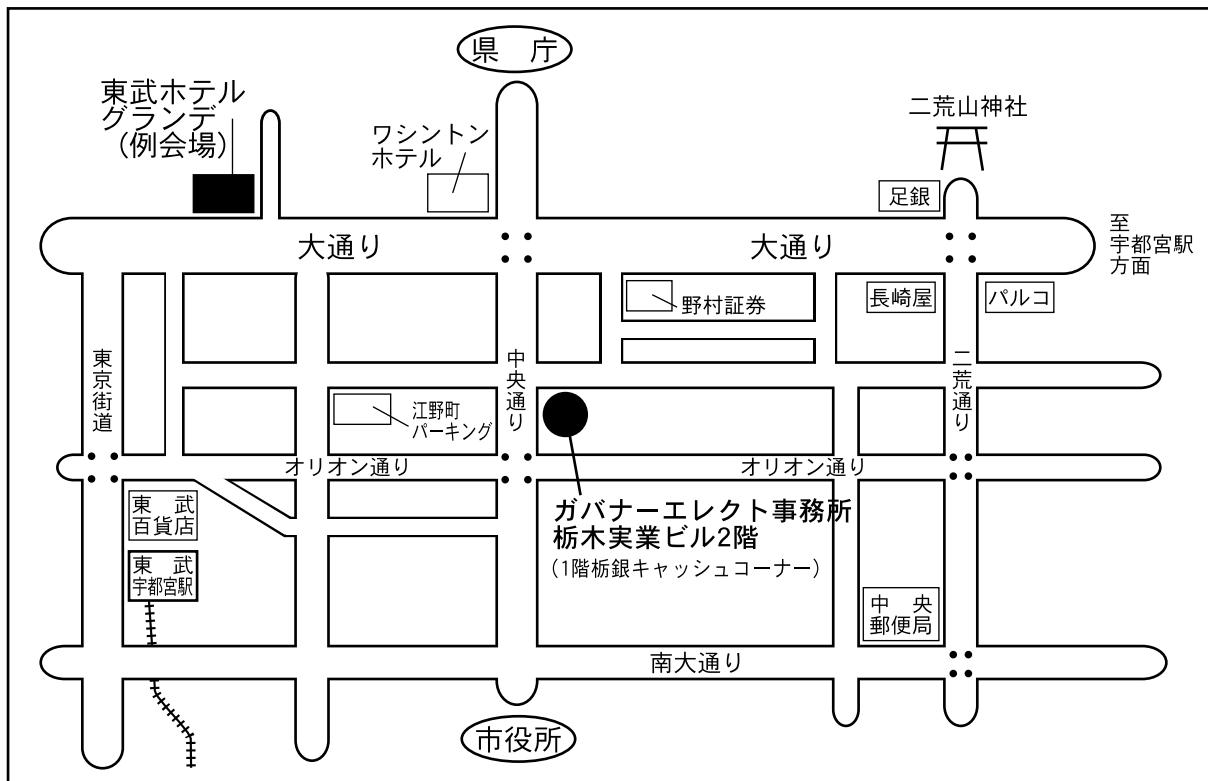
下記の通り、ガバナーエレクト事務所を開設いたしましたのでお知らせ致します。

何卒ご指導ご協力賜りますようお願い申し上げます。

記

開設日 2006年10月16日（月）
所在地 〒320-0802 宇都宮市江
電話 028-651-2550
FAX 028-651-2551
E-mail k2550@lemon.plala.or.jp

案 内 図



執務時間 午前10時～午後4時（土日・祝日はお休み）

また、2007年7月1日よりガバナー事務所となります。

ガバナーエレクト
地 区 幹 事
地区資金委員

亮平臣


地区主要行事予定

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2550

2006~2007年度 地区主要行事予定**2006年** 地区外行事

月	日	曜日	行 事	場 所	
11	3~5日	金~日	ライラセミナー	鹿 沼	ウェルサンピア栃木
	11日	土	文星女子高校IAC認証状伝達式	宇都宮	
	17日	金	インタークト合同会議	宇都宮	宇都宮グランドホテル
	23日	木	ロータリー財団地域セミナー	岡 山	岡山コンベンションセンター
	24日	金	地区研修リーダーセミナー	岡 山	岡山コンベンションセンター
	25~26日	土~日	ロータリーゾーン研究会	岡 山	岡山コンベンションセンター
12	9日	土	第3回 諮問委員会	栃 木	サンルートプラザ栃木

2007年

月	日	曜日	行 事	場 所	
1	8日	月(祝)	第2回 会長・幹事会	宇都宮	宇都宮グランドホテル
	20日	土	地区米山記念奨学生選考試験	宇都宮	ニューイタヤホテル
	21日	日	第4回 諮問委員会	宇都宮	宇都宮グランドホテル
	28~3日	日~土	国際協議会	米 国	サンディエゴ


文庫通信(229号)

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2550

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

「青少年のために」

- ◎ 「ロータリーとR Y L A」
今井 鎮雄 2005 4p (D.2750 第1回 R Y L Aセミナー報告書)
- ◎ 「人を育てる」
深川 純一 2005 22p (ライラワークショップレポート)
- ◎ 「如何に育てん我らの新世代」
藤川 享胤 2005 10p (D.2620 地区大会)
- ◎ 「異文化を超えて」
水野 正人 2006 6p (第11回ロータリー青少年交換研究会東京会議報告書)
- ◎ 「星野の人づくり」
星野 仙一 2006 12p (D.2690 地区大会)
- ◎ 「スポーツにみるリーダーシップ」
小幡日出男 2005 10p (D.2780 地区大会)
- ◎ 「生かそう日本の心」
董門 冬二 2006 15p (D.2530 地区大会)

[上記申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)]


ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

国際ロータリー第2550地区9月会員増強・出席報告

分区	クラブ名	出席率			会員数							
		例会数	今月	平均	7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性会員
第一グループ	大田原	4	91.68	89.89	47	47	0	0	2	2	0	1
	黒磯	4	98.00	99.17	44	46	0	0	2	0	2	2
	西那須野	4	99.00	97.17	49	51	0	0	2	0	2	0
	黒羽	5	93.63	94.47	22	22	0	0	0	0	0	0
	那須	4	88.46	87.76	24	25	0	1	2	1	1	2
	塩原	4	76.90	77.46	13	12	0	0	0	1	-1	0
	大田原中央	4	82.40	73.90	21	21	0	0	0	0	0	0
第二グループ	鳥山	3	94.11	92.15	17	17	0	0	0	0	0	1
	氏家	4	82.82	85.94	36	36	0	0	0	0	0	0
	矢板	4	84.80	88.34	38	38	0	0	0	0	0	6
	馬頭小川	4	93.50	89.85	23	23	0	0	0	0	0	0
	高根沢	4	83.80	83.97	17	17	0	0	0	0	0	1
第三グループA	宇都宮	4	77.10	75.03	101	105	0	0	5	1	4	0
	宇都宮西	4	89.80	90.87	60	61	0	0	2	1	1	0
	宇都宮北	4	77.37	76.05	57	57	0	0	0	0	0	0
	宇都宮90	3	85.60	87.83	44	44	0	0	1	1	0	5
	宇都宮陽北	4	82.60	82.83	35	35	0	0	0	0	0	6
第三グループB	宇都宮東	4	92.08	92.51	104	106	1	0	2	0	2	0
	宇都宮南	4	79.79	79.81	49	51	2	0	2	0	2	0
	宇都宮陽東	4	79.31	83.38	41	43	1	0	2	0	2	1
	宇都宮陽南	4	90.30	92.27	19	19	0	0	0	0	0	4
第四グループ	真岡	4	85.00	86.14	40	40	0	0	1	1	0	0
	益子	4	88.90	91.77	44	44	0	0	0	0	0	0
	真岡西	4	88.89	92.16	45	46	0	0	1	0	1	8
	しもつけ	4	90.51	89.36	29	29	0	0	0	0	0	7
第五グループ	小山	4	89.00	89.90	47	50	1	0	3	0	3	0
	小山南	4	96.43	96.79	20	21	0	0	1	0	1	1
	小山東	5	89.05	91.79	42	42	0	0	0	0	0	0
	小山北	5	85.71	80.95	29	29	0	0	0	0	0	0
	小山中央	4	74.00	75.33	27	27	0	0	0	0	0	1
第六グループ	栃木	4	74.50	74.07	55	55	0	0	1	1	0	0
	栃木西	4	83.24	82.25	43	44	0	0	1	0	1	2
	壬生	4	92.00	91.33	19	20	0	0	1	0	1	2
	栃木南	4	85.16	86.25	36	36	0	0	0	0	0	4
第七グループ	日光	3	80.95	83.64	31	31	0	0	0	0	0	3
	鹿沼	4	94.12	90.23	70	72	0	0	2	0	2	1
	今市	4	90.76	90.76	46	46	0	0	0	0	0	0
	鹿沼東	4	85.98	90.04	47	47	0	0	0	0	0	2
	栗野西方	4	95.60	97.55	17	17	0	0	0	0	0	1
	鹿沼中央	4	94.17	85.47	31	31	0	0	0	0	0	1
	今市きぬ	4	90.00	93.06	30	30	0	0	0	0	0	1
第八グループ	足利	5	82.87	85.01	49	49	0	0	0	0	0	0
	足利東	4	80.39	84.62	61	62	0	0	1	0	1	7
	足利西	4	76.68	77.44	15	15	0	0	0	0	0	0
	足利わたらせ	4	93.50	95.12	26	28	2	0	2	0	2	0
第九グループ	佐野	3	85.73	90.82	59	59	0	0	1	1	0	0
	葛生	4	87.10	89.37	36	37	0	0	1	0	1	0
	田沼	4	96.43	94.84	40	42	0	0	2	0	2	0
	佐野東	4	82.29	85.42	23	24	0	0	1	0	1	0
	岩舟	4	74.16	78.88	30	30	0	0	0	0	0	1
50RC		86.72	87.22	1948	1979	7	1	41	10	31	71	

お知らせ

◎足利東RAC事務所&例会日、例会所の変更連絡

事務所 足利市有楽町835 足利商工会議所北事務所内 足利東ロータリークラブ事務所内

TEL 0284-40-4870 FAX 0284-40-4871

例会 第1、第3木曜 7:30-9:30 足利東ロータリークラブ事務所